

中運整車 第 273 号

平成 3 年 2月22日

東急車輛製造株式会社 殿

中部運輸局長

改造自動車等審査結果通知書

指示事項： 1. 幅 軸重 } については「道路運送車両の保安基準」の緩和を受けること。
車両総重量

2. けん引車については次により検討した
車名 三菱 型式 W-FP414DR (第五輪 9.0 t)
P-FP414DR (第五輪 9.0 t)

3. 本試作は製造番号TL252A-07-S1066の / 台限りとする。

主要諸元比較表 (改造、試作、組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		普通貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車両重量 kg		9000	—	車名	東急	—		
乗車定員人	—	—	—	型式	TL252A-37	—		
最大積載量 kg	21000	—	≤ 20 t	形状	セミトレーラ	—		
車両総重量 kg	30000	()	≤ 20 t	原動機の型式	—	—		
長さ m	8.700	≤ 12	≤ 2.5	総排気量 l	—	—		
幅 m	2.990	≤ 2.5	—	燃料の種類	第5輪か台	—		
高さ m	1.640	≤ 3.8	—	軸距 m	5.400 + 2.00 = 6.600	—		
室内又は荷台の内側の寸法 m	長さ 4.900	—	—	最小回転半径 m	※ 8.1 (8.1)	≤ 12		
空車時荷重分布 kg	前 2.990	—	—	オーバーハンプボデー後端まで m	1.650	≤ 8.1 (8.1) L ₀ (3.300)		
積車時荷重分布 kg	前 7.020	≤ 10 t ()	—	荷台オフセット m	1.400	—		
輪距 m	後 3.440	—	—	タイヤ前後サイズ	7.50R16-14 PR	—		
能力強度等検討	後 3.440	—	—		7.50R16-14 PR	—		
制動能力	前 1.1490	≤ 10 t ()	—	積車時タイヤ荷重割合 %	前 99.7	—		
推進軸強度	後 1.1490	—	—	後 99.7	—	≤ 100		
等検討	前輪荷重割合 %	—	≥ 18 20	最大安定傾斜角度 °	左 ※ 52 (52)	一般 ≥ 35 (30)		
	後輪荷重割合 %	—	—	右 ※ 52 (52)				
注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。 注2. 能力強度等検討欄に必要としないものは一、省略したものはXを記入すること。	踏力 kg 50 km/h (0.2) m	車わく強度	8.8/18 = 4.00 / 0.0625 = 6.4 > 1.6	車軸強度	" = 4900/496×2.5 = 3.9 "			
	空気圧 7 kg/cm ²							
	Nc/N= / =	操縦装置	" = / = . "					
	σ _b /τ= / =	懸架装置	" = 7000/695×2.5 = 3.1 "					
		制動装置	" = 4500/1276 = 3.5 "					
		連結装置	東急 TL 2555 型 ドレーラと同一					

注. ※印は W-FP414DR型トラクターと連結時の計算値を示す()外

三菱 P-FP414DR型トラクターと連結時の計算値を示す()内

高橋リース(株)
55202-9148

試作改造成概要説明書

目的	当該車両は分割不可能なる重量物の安全輸送を計る為に新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 5400 + 1200 = 6600 mmとした
輪距	2430 mmとした。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトライオンブレケットを取り付けそれにトライオン軸を通してその軸を中心にして上下に揺動するウォキングビームを取り付け、その両端に取付けられた車軸にテーパーローラベアリングをはめ合せて車輪のホイールを支える。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧・内部拡張式ブレーキシュー・アンカーピン形式 (駐車ブレーキ) フレームの側レールに取付けられたノブを押すと、スプリングブレーキが作動する。 牽引車と分離した時、制動のかかる非常中継弁を取付けている。 ブレーキ配管内の水及ゴミの蓄積防止の為エヤーフィルターを設ける。
懸架装置	ウォーキングビーム方式 トライオン軸を中心にして前後に揺動し、ウォーキングビームのスピンドルを中心に行き来する構造である。
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (SS) 自車第 743 号新型自動車 第 10999 号と同一のものを使用している。 JIS-D-6502に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガーやクロスマンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

(A列3番)

(社団法人 日本自動車車体工業会)

Y 40020